

# 「お手伝い」させていますか

普段子どもにお手伝いをさせていますか。

子どもたちは、習い事や塾で忙しかったり、遊んでばかりでそれどころではないなんてこともあるでしょうか。

親の側からするとどうでしょうか。

きちんとやってくれるなら、もちろんお手伝い大歓迎です。でも「最初からちゃんとできるわけではないし、下手にやってもらうと結局やり直さないといけないし、それも子どもの心を傷つけないように気づかれないようにこそこそやるしかないし・・・そんな面倒なことになるなら自分でやったほうがいいわ」なんて思って子どもには何もや

らせないままになっていたりということはありませんか。

でも、お手伝いをさせるということは、子どもにとつてとてもいい面があるのです。

## 子ども

の年齢によつ

てできることは考えないといいませんが、たとえ幼稚園の子どもでもできることはいろいろあります。まして小学生になれば大概のことができるはずですよ。

大人はどうしてもすぐにきちんとできることを要求しがちです。自分と同じようにできることを求めてしまいがちです。でも、最初から上手にできなくても、うまくいかなくても当たり前

前だと考えてみてくださ

い。もし始めから子どもにまかせてしまうのが心配だったら、まずは一緒にやってみることをお勧めします。

例えば、お風呂そうじでも、洗濯物を取り込んでたんでしまふことでも、一緒にやりながら「こうやるんだよ」と見本を見せながらやらせてみる。子どももやり方を覚えやすし、お母さんと一緒に作業がとても楽しい時間になっていると思います。

そして、できるようになってきたらまかせてみることです。

## 長続き

のポイント

はめながらやらせて、やってくれたら少しくらい褒めて「ありがとう。助かったわ」の一言です。その一言で、子どもはまた明日もやろうという気持ちになるものですよ。

家の中で自分の役割がある、責任を持つて任されているということ、子どもを成長させます。

大人の私たちでも人に信頼され、任されていることがあと思うことは自分に自信が持てることだと思えます。子どもにとつてはなおさらです。

自分が必要とされている大事な人間なんだと思えることは、これから生きていく上でとても大切で必要なことです。子ども達の中に、ぜひこの感情を育てていただきたいと思います。

家庭教育指導員 加瀬

